

適語選択問題

a	b	c	d	e	f	g	h								
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ
3	1	3	2	1	2	2	4	1	4	2	3	2	4	2	3

基本練習問題 1

仕訳(1)

1

	借方	貸方
a	棚卸減耗損 10,000	素材 10,000
✕	材料消費価格差異 40,000	消費材料 40,000
✕	作業くず 6,000	製造 6,000
d	健康保険料 95,000	現金 190,000
	健康保険料預り金 95,000	
e	製造 370,000	外注加工賃 370,000
f	仕損品 20,000	製造 160,000
	仕損費 140,000	
✕	第1製造部門費 297,000	動力部門費 300,000
	第2製造部門費 248,000	修繕部門費 245,000
✕	売上原価 106,000	製造間接費配賦差異 106,000

解説

- a. 帳簿棚卸高を実地棚卸高にあわせるために素材勘定を修正し、棚卸減耗損を計上する。
 棚卸減耗損の計算 (610個 - 605個) × @ ¥2,000 = ¥10,000
- b. 予定消費高…800kg × @ ¥1,250 = ¥1,000,000
 実際消費高…800kg × @ ¥1,300 = ¥1,040,000
- | | |
|---------------------|---------------------|
| 消費材料 | 予定消費高
¥1,000,000 |
| 実際消費高
¥1,040,000 | ¥40,000 → 材料消費価格差異へ |
- c. 作業くずが発生した製造指図書が限定できるので、貸方は製造勘定となる。
- d. 健康保険料は事業主と従業員が半額ずつ負担する。事業主負担分は健康保険料勘定を使用し、従業員負担分は賃金支払時に預かっており、そのさいに用いた健康保険料預り金勘定を使用して仕訳する。
- e. 外注加工賃は直接経費に属し、問題文にも「製造指図書#5のために消費した」と明記してあるので製造勘定に振り替える。消費高の計算は次のようにおこなう。
 ¥380,000 (支払高) - ¥40,000 (前月末払高) + ¥30,000 (当月未払高) = ¥370,000
- f. 製品全部が仕損じとなり、新たに製造指図書を発行して代品を製造する場合、旧製造指図書に集計された製造原価を仕損費とする。なお、仕損品に評価額がある場合は、評価額分が製造勘定から仕損品勘定に振り替えられるので、仕損費勘定への振替額は仕損品の評価額を差し引いた金額となる。
- g. 各補助部門費から各製造部門への配賦額の内訳を示すと次のようになる。

	第1製造部門	第2製造部門
動力部門費	¥192,000	¥108,000
修繕部門費	¥105,000	¥140,000

h.

製造間接費	製造間接費配賦差異
実際発生額 ¥1,497,000	予定配賦額 ¥1,483,000
	繰越 ¥92,000
	差異 ¥14,000
	¥106,000 → 売上原価へ

基本練習問題 1

仕訳(2)

2

	借方	貸方
a	製造 475,000	従業員賞与手当 475,000
b	1級製品 1,750,000	製造 3,150,000
	2級製品 1,400,000	
c	A組製造 450,000	組間接費 850,000
	B組製造 400,000	
d	第2工程製造 1,820,000	第1工程製造 1,820,000
	製品 2,970,000	第2工程製造 2,970,000
e	製品 855,000	製造 890,000
	副産物 35,000	
f	売掛金 1,600,000	売上 1,600,000
	売上原価 1,200,000	1級製品 525,000
		2級製品 675,000
g	減価償却費 290,000	建物減価償却累計額 720,000
	工場 430,000	

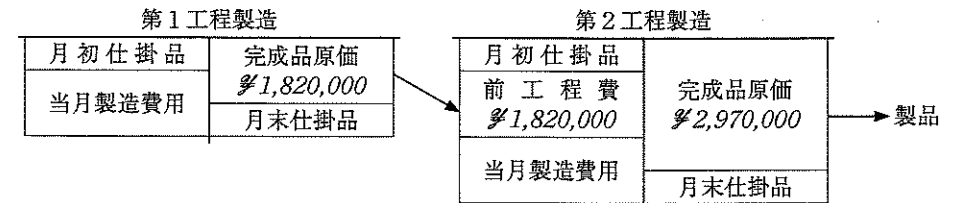
解説

- a. 賞与の月割額の計上なので、半年分の支払予定額 ¥2,850,000 を6か月で割って1か月分を計上する。従業員賞与手当は通常は間接労務費であるが、単純総合原価計算なので、製造勘定に振り替える。
- b. 等級別総合原価計算は、製品別に製造勘定が分かれていないので、製造勘定から各等級製品へ完成品原価を振り替える。各等級製品の完成品原価は次のように計算する。

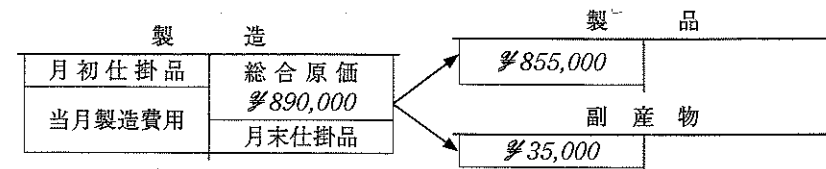
等級別総合原価計算表

等級別製品	重量	等価係数	完成品数量	積数	等級別製造原価	製品単価
1級製品	300g	2	2,500個	5,000	1,750,000	¥700
2級製品	150g	1	4,000g	4,000	1,400,000	¥350
				9,000	3,150,000	

- c. 組間接費の配賦率 ¥850,000 ÷ (900時間 + 800時間) = ¥500
 各組への配賦額の計算 A組…900時間 × @ ¥500 = ¥450,000
 B組…800時間 × @ ¥500 = ¥400,000
- d. 各工程の完成品原価の流れは次のようになる。



- e. 総合原価から副産物の評価額を差し引いた金額が完成品原価となる。



- f. 売上の仕訳は製品別におこなう必要はない。
- g. 工場の建物に対する減価償却費は工場勘定で仕訳し、本社の建物に対する金額を減価償却費として計上する。なお、問題の指示にあるように、建物減価償却累計額は本社が全額計上する。

基本練習問題2

作表(1)

3

(1)

単純総合原価計算表
令和〇年1月分

摘要	素材費	加工費	合計
材料費	3,268,000	307,000	3,575,000
労務費	—	▶① 1,952,000	1,952,000
経費	—	276,000	276,000
計	3,268,000	2,535,000	5,803,000
月初仕掛品原価	812,000	281,000	1,093,000
計	4,080,000	2,816,000	6,896,000
▶② 月末仕掛品原価	680,000	256,000	936,000
完成品原価	3,400,000	2,560,000	5,960,000
完成品数量	400個	400個	▶③ 400個
製品単価	¥ 8,500	¥ 6,400	¥ 14,900

(2)

月末仕掛品原価	¥ 948,000	▶④
完成品原価	¥ 5,948,000	

解説

- ▶① 賃金、給料、健康保険料の合計である。健康保険料を経費に含めないように注意する。
▶② 月末仕掛品原価の計算（平均法）

素材費

月初仕掛品 ¥812,000	完成品 400個
当月製造費用 ¥3,268,000	
	月末仕掛品 80個 ¥(680,000)

$$\frac{¥812,000 + ¥3,268,000}{400個 + 80個} \times 80個 = ¥680,000$$

加工費（数量は加工進捗度を掛けた個数）

月初仕掛品 ¥281,000	完成品 400個
当月製造費用 ¥2,535,000	
	月末仕掛品 40個 ¥(256,000)

$$\frac{¥281,000 + ¥2,535,000}{400個 + 40個} \times 40個 = ¥256,000$$

- ▶③ 完成品数量を800個としないように注意する。
▶④ 先入先出法による月末仕掛品原価の計算

素材費

月初仕掛品 100個 ¥812,000	完成品 400個
当月製造費用 ¥3,268,000	
	(300)個
	月末仕掛品 80個 ¥(688,000)

$$\frac{¥3,268,000}{300個 + 80個} \times 80個 = ¥688,000$$

※完成品原価は「月初仕掛品原価 + 当月製造費用 - 月末仕掛品原価」で求める。

加工費（数量は加工進捗度を掛けた個数）

月初仕掛品 50個 ¥281,000	完成品 400個
当月製造費用 ¥2,535,000	
	(350)個
	月末仕掛品 40個 ¥(260,000)

$$\frac{¥2,535,000}{350個 + 40個} \times 40個 = ¥260,000$$

基本練習問題2

作表(2)

4

等級別総合原価計算表
令和〇年2月分

等級別製品	重量	等価係数	完成品数量	積数	等級別製造原価	製品単価
1級製品	600g	3	2,000個	6,000	2,700,000	¥1,350
2級製品	400g	2	3,500g	7,000	3,150,000	¥ 900
				13,000	5,850,000	

解説

完成品総合原価のあん分額の計算 ※積数（等価係数×完成品数量）を基準とする。

$$1級製品 \cdots ¥5,850,000 \times \frac{6,000}{13,000} = ¥2,700,000$$

$$2級製品 \cdots ¥5,850,000 \times \frac{7,000}{13,000} = ¥3,150,000$$

5

組別総合原価計算表
令和〇年3月分

摘要	A組	B組
組直接費	2,464,000	2,552,000
組間接費	3,166,000	4,906,000
▶① 当月製造費用	616,000	924,000
月初仕掛品原価	6,246,000	8,382,000
素材費	370,000	270,000
加工費	357,000	276,000
計	6,973,000	8,928,000
▶② 月末仕掛品原価	539,000	232,000
素材費	434,000	212,000
加工費	59,000	20,000
完成品原価	6,000,000	8,484,000
完成品数量	3,000個	2,800個
製品単価	¥ 2,000	¥ 3,030

解説

- ▶① 組間接費の配賦額の計算

$$A組 \cdots (¥825,000 + ¥715,000) \times 40\% = ¥616,000$$

$$B組 \cdots (¥825,000 + ¥715,000) \times 60\% = ¥924,000$$

- ▶② 月末仕掛品原価の計算（先入先出法）

A組 素材費

月初仕掛品 500個 ¥370,000	完成品 3,000個
当月製造費用 ¥2,464,000	
	500個 ¥370,000
	(2,500)個
	月末仕掛品 700個 ¥(539,000)

$$\frac{¥2,464,000}{2,500個 + 700個} \times 700個 = ¥539,000$$

B組 素材費

月初仕掛品 300個 ¥270,000	完成品 2,800個
当月製造費用 ¥2,552,000	
	300個 ¥270,000
	(2,500)個
	月末仕掛品 250個 ¥(232,000)

$$\frac{¥2,552,000}{2,500個 + 250個} \times 250個 = ¥232,000$$

加工費（数量は加工進捗度を掛けた個数）

月初仕掛品 300個 ¥357,000	完成品 3,000個
当月製造費用 ¥3,782,000	
	300個 ¥357,000
	(2,700)個
	月末仕掛品 350個 ¥(434,000)

$$\frac{¥3,782,000}{2,700個 + 350個} \times 350個 = ¥434,000$$

加工費（数量は加工進捗度を掛けた個数）

月初仕掛品 150個 ¥276,000	完成品 2,800個
当月製造費用 ¥5,830,000	
	150個 ¥276,000
	(2,650)個
	月末仕掛品 100個 ¥(212,000)

$$\frac{¥5,830,000}{2,650個 + 100個} \times 100個 = ¥212,000$$